

事業完了報告書（実行団体）

事業名:	社会的養護施設の人材確保支援事業
資金分配団体名:	公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
実行団体名:	特定非営利活動法人チャイボラ
実施時期:	2020年10月～2021年9月
事業対象地域:	特定地域（東京都・神奈川県・埼玉県）
事業対象者:	事業で直接支援する対象者：東京都・神奈川県・埼玉県 の社会的養護施設・施設職員 最終受益者：児童養護施設に入所する児童

Version 3.2

日付： 2021年10月14日

I. 事業概要

事業実施概要	<p>コロナにより、離職・退職が相次ぎ、採用活動も大幅に鈍化している社会的養護施設の「新規職員の採用」をサポートすることで、入所児童への十分な支援体制を作る。</p> <p>既に運営中のチャボナビ、見学会の企画運営、出張授業、社会的養護に関する情報の発信、相談窓口の各施策を加速させるため、新たな広報戦略を実行し求職者や施設に必要な情報が届けられるようにする。</p> <p>また上述の活動を加速させるため、現在のボランティア・プロボノスタッフが事業運営に集中できるよう、弁護士・社労士・税理士等の専門家から支援を調達し、本団体そのものの実行力・ガバナンス強化も行う。</p> <p>【追加施策】</p> <p>採択の条件として以下の内容を追加する</p> <p>①国・自治体に対し政策提言を行う</p> <p>②チャボナビ掲載基準を作成する</p>
--------	---

II. 課題・事業設計の振り返り

課題設定、事業設計に関する振り返り	<p>予定していた事業全体的に大きな進捗の遅れはなく、ほぼ予定通り事業を進捗することができた。昨年度より蔓延しているコロナウイルスの影響により、各施設における人材確保のニーズも高い状態にあり、順調に施設登録数を増やすことができた。また、各施設で開催された見学会や説明会への参加者数も述べ1321人、各学校への出張授業も全18回実施、980人の学生に認知を広げることができた。CV数にも設定していた「社会的養護総合情報サイト チャボナビ」の会員登録数も助成スタート時と比較して7.5倍（2020年9月度99名、2021年9月度738名）に増加することができた。このことから、学生側のニーズも高まっている状態であり、今回設定した課題設定や事業設計は正しい状態であったと思われる。</p> <p>これらの背景には、正しい課題設定と事業設計と共に、各種メディアに取り上げていただいたことによる団体そのものの認知の広がりも影響していると思われる。</p> <p>事業が拡大していくタイミングで、拡大の方向性だけでなく、足元を固める各種規定やコンプライアンスに関する規程類を揃えられたことも、安定的に拡大ができていく要因の一つであると考えられる。</p> <p>今後のアクションとして、本格的な全国展開とそれに伴う人材確保事業・定着事業双方の安定的運営が必要になるとと思われるため、速度を保ちつつ安定的な活動を進めていけるように、各種規定の定期的な見直しや、組織全体の見直しを常に行っていく。</p>
-------------------	--

III. 今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）※複数設定の場合はコピーし複数記載ください。

①受益者	②課題	③今回の事業実施で達成される状態（アウトプット）	④指標	⑤目標値・目標状態	⑥結果	⑦考察
コロナで影響を受ける従事者	その他	新規広報戦略によるチャイボラ・チャボナビの認知拡大	チャボナビ施設掲載数・チャボナビのコンバージョン数（施設見学会申し込み数+その他施設へのコンタクト数）	CV数 100%増（※2020年9月時点と比較して）	チャボナビ施設掲載数：85施設（2020年9月の56施設に対して26施設増加） 施設へのコンバージョン数：1321名 750%達成（2020年9月度99名、2021年9月度738名）	施設登録数については、85施設の登録となった。助成期間終了前に、福祉新聞に取り上げられたことや、本格的な全国展開を開始したため、現在登録準備中の施設が16施設あるため、近日中に100施設を超えてくる予定である。また、施設へのコンバージョン数は1321名となり、2020年9月に比べて一定数の増加を見ることができた。これは団体知名度の向上と共に、多くの施設が登録してくれたことによる機会の増加が要因として考えられる。
コロナで影響を受ける従事者	その他	新規採用職員の拡大	チャボナビ経由の新規採用数	マッチング数 50%増（※2020年9月時点と比較して）	39名のマッチング（昨年度データがない為、比較の確認ができません。）	施設への独自アンケートにより統計を取っており、回答があった施設（回答率70%）の数値になっている。その為、実数よりも低く出ている可能性がある。現状、比較をできるデータ無いため、このデータをベースデータとし、毎年定例的に確認を行っていくことにより、比較検討を行っていく。

IV. アウトカム（事業実施以降に目標とする状況）*

事業実施以降に目標とする状況	全国にある社会的養護施設、約1300にチャボナビやチャイボラの活動が認知され、1年後は、一都三県では7割、全国的には4割の施設が掲載され、掲載されている施設の採用希望人数の最低でも5割はチャボナビを通して採用が決まる状態を作る。その結果、全国で約37,000人いる入所児童が安心して生活できる環境を提供することを目標とする。
考察等	助成前は東京都を中心とした活動規模であったが、期中に行った多くの広報活動が実を結び、現在は日本全国からの問い合わせをいただくようになってきている。当団体の活動領域は日本全域になるため、今後の活動展開としては日本全国の社会的養護施設への展開を図っていきたい。また、そうなった際には社会的養護施設業界の人材確保領域におけるインフラになっていることも想定できる。インフラ化が行われた際には事業の展開性ととともに、継続性も併せて重要視していくべきであるため、各省庁へ政策提言などのアプローチを行い、行政を巻き込んだ事業運営を行っていく。

V. 活動

活動	進捗	概要
養成校への出張授業	計画通り	助成決定後の2020年9月～2021年9月末までの段階で、18校合計24コマの授業を実施。980名程度の学生への授業を実施し、チャイボラ並びにチャボナビの認知拡大活動を行った。各養成校の教員の方々の懇親会も実施し、今後も継続した授業を実施していく。
求職者向けの動画制作	遅延あり	外部の企業に制作依頼を行い、求職者向けに児童養護施設を紹介する動画作成を行った。予定通り施設の紹介動画を作成することができた。（下記URL参照）学習会や学校での授業で鋭意活動を行っており、今後も継続して活用していく。 【求職者向け動画】 https://www.youtube.com/watch?v=AqQ7qvaBXDU 計画当初では6施設分の動画作成と予定していたが、コロナウイルス蔓延の影響などもあり、撮影許可をいただける施設に限られてしまい、1施設の作成にとどまった。 様々な施設様とお話をさせていただき中で、作成に向けてのニーズは十分にあるため、今後のコロナウイルスの感染状況の沈静化を待ちながら実施を行っていきたいと思う。
チャイボラの向き合う社会課題およびチャイボラ・チャボナビの認知拡大のためのLP制作	計画通り	外部の企業に制作依頼を行い、予定通りLPを作成することができた。（下記URL参照）社会的養護の認知拡大と、当団体の認知拡大のため、今後も同様に運用を行っていく。 【LPページ】 https://chaibora.org/donation/?gclid=Cj0KCQjw5JSLBhCxARIsAHgO2SfAdKuf0yI6OXtJnYJ2EGjIHtWA3LMplXdwHrCl1eyv8V5JID5YKsaAhC0EALw_wcB
オンライン施設見学会の実施	計画通り	期中に6つの施設様と7回のオンライン見学会を実施した。申し込み人数は延べ200名となり、どの会においても満足度の高い見学会を実施することができた。また、実施を積み重ねていく形で、オンラインだけではなく「オンラインとオフラインの同時展開」という新しい形での見学会の手法も生まれ、各施設様のニーズにより細かくご提案をできる形となった。期外になるが、10月以降で6つの施設様との見学会を予定している。
SNS広報	ほぼ計画通り	各種SNSの本格運用を行うとともに、SNSを中心に寄付を目的とした広告運用を外部の企業に依頼し、スタートさせた。まだ、本格的な寄付獲得には十分に結びついていないが、十分な効果が出始めているため、今後も予算枠を確保して実施を行っていく。最終的なSNSのフォロワー数は下記の通り。 【SNSフォロワー数（9月末日）】 Twitter978 Insta281 facebook1275 LINE606
掲載基準の制作	ほぼ計画通り	作成を終え、既存で登録されていらっしゃる全施設への説明を終了した。細かい部分だが計画変更した点として、本来読み合わせを全施設と行う予定であったが、連絡がつかない施設もあったため、文章を送信する形での対応を行っている。今後は、新規登録のフローの中に掲載基準の読み合わせを入れ、漏れることなく対応を行っている。
社会的養護認知拡大の為の学習会開催	ほぼ計画通り	期中に一般向けの学習会を7回、施設職員向けの学習会を19回開催し、両方合わせて916名の参加を頂いた。一般の方に向けた認知拡大に繋がるとともに、施設職員同士の結びつきを作る交流の機会ともなっており、拡大のみならず職員の定着にも活用されている。今後も毎月の開催を行っていく。
プレスリリース	ほぼ計画通り	期中に5本のプレスリリースを実施。直接的な会員登録や寄付などのコンバージョンには繋がっているか正確に確認は取れないが、団体の認知向上に繋がることができた。今後、様々な機会に併せて、計画的にプレスリリースを行っていく。
未登録施設へのチャボナビ登録を促す広報冊子制作および発送	計画通り	チャボナビ登録を促す広報誌を作成。1都3県（東京・埼玉・神奈川・千葉）のチャボナビ未掲載の施設に向けて発送を行った。発送先の施設としては、児童養護施設・乳児院・自立援助ホーム・児童自立支援施設を対象とし、87件の発送と、電話連絡を実施した。その中で、好感触の施設についてはチャボナビ登録を促すメールをお送りし、丁寧な対応を行ったところ、神奈川・埼玉の施設様から7件の登録を頂いた。今後も、地方の施設への配布なども活動の視野に入れ、活用を行っていく。

チャイボラ 運営体制・ガバナンス強化施策の実行	ほぼ計画通り	団体内での運営体制については、助成開始前には全員ボランティアでの参加であった体制であったことに対して、正社員を1名、非常勤職員を2名採用して運営体制を整えることができました。また、助成前には整えることができていなかった各種規約やガバナンスについても、全て整え、現在運用を行っている。
国・自治体への政策提言作成	遅延あり	当初予定していた政策提言を行うまでには至らなかった。理由としては、政策提言を行うまでの必要データの収集量が十分に至らなかったことがあげられる。また、現在の段階で活動領域が関東地方になってしまっており、限局的なデータになってしまっていることもその一つとしてあげられる。今後、活動を全国展開する中で量・質ともに価値があるデータを収集し、政策提言の基盤を整えていく。また、活動を行う中で、厚生労働省の方と繋がり、今後の社会的養護業界における政策や施策についての議論を複数回行うことができた。今後の施策運営においてもお話を進めていく予定であり、助成終了後も引き続き活動を行っていく。

VI. 想定外のアウトカム、活動、波及効果など

想定外のアウトカム、活動、波及効果など	特になし。
---------------------	-------

VII. 事業終了時の課題を取り巻く環境や対象者の変化と次の活動

課題を取り巻く変化	事業開始前からの環境の変化として、一番に挙げられることはコロナウイルス蔓延の長期化が上げられる。その事により、施設職員の疲弊度合いも比例するように上がり、より人員の確保と定着が課題となってきている。ポジティブな変化としては、コロナの影響で各施設におけるツールのオンライン化が進んだ。その事により、以前は考えられなかったオンラインによる学習会などを開催できる環境が整ったと思われる。これらの状況から、今後の活動の展開としては、現在の活動をスケールアップして日本全国に広げていくこと、オンラインによる見学会を各施設と共同で行い、そのノウハウを伝えていくことにより、施設が独自に開催を行なっていくように支援を行っていくことの2つになる。
-----------	---

VIII. 他団体との連携

連携先	実施内容・結果

IX. インプット ※事業完了月の月次収支管理簿の金額を入力ください。（精算金額と一致させる必要はありません）

		計画額	実績額	執行率
事業費	直接事業費	5,725,000	5,581,340	97.5%
	管理的経費	275,000	250,000	90.9%
合計		6,000,000	5,831,340	97.2%
補足説明		10月支払予定の人件費の支払いがまだのため、上記の数値となっている。		

X. 広報実績

広報内容	内容
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	○2021年2月15日 NHKニュース「シブ5時」にて団体が取り上げられる
2.広報制作物等 当該事業費を使って制作したもの	○チャイボラ関連グッズ（エコバック、ステッカー、クリアファイル、ボールペン）の作成 ○LPページの作成 ○施設紹介動画の作成
3.広報制作物、購入物等でシンボルマークの活用方法（事例）	○メンバー、ボランティア、関係者に配布。
4.報告書等	○事業報告書 ○予算変更申請書

XI. ガバナンス・コンプライアンス実績

①規程類※の整備実績		
※規程類：定款・規程及び準ずる文書類(指針・ガイドライン等を含む)	状況	内容
1.事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。	完了	各種規定について作成を完了し、団体内での運用を行っている。
2.上記設問1で「整備中」の場合は、事業開始時と比較して、整備状況がどのように改善されたかを記載してください。		
3.整備が完了した規程類を自団体のwebサイト上で広く一般公開していますか。	全て公開した	
4.変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。	変更があり報告済	
②ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1.社員総会、評議員会、理事会は、規程類の定める通りに開催されていますか。	はい	
2.利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
3.関連する規程類や資金提供契約の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
4.コンプライアンス委員会またはコンプライアンス責任者を設置していましたか。	いいえ	
5.ガバナンス・コンプライアンスの整備や強化施策を検討・実施しましたか。	はい	
6.報告年度の会計監査はどのように実施しましたか。 (実施予定の場合含む) (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 外部監査	団体の監事による監査を行った。
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査	
	<input type="checkbox"/> 実施予定はない	
7.本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。	いいえ	
8.内部通報制度は整備されていますか。	はい	